

# 平成 28 年度文理科・SSH 研究交流会



## 1 目的

個人またはグループの研究成果を公開し、意見交換し合うことで各自の考察や解釈の客観性を検証するとともに、相互に研鑽し合うことで、新しい物の見方を養う契機とする。

## 2 日時

平成 29 年 3 月 13 日（木） 8 時 45 分～10 時 30 分

## 3 場所

体育館 2 階アリーナ（課題研究ポスター発表）

## 4 発表者

2 年文理科文系課題研究 1・2 年生 SSH グループ課題研究 自然科学系 3 部課題研究  
1 年総学 グループ課題研究代表 本校卒業生 韮崎工業高校生徒

## 5 指導助言および参加予定者

JST、SSH 運営指導委員、県教育委員会、本校教職員（以上、指導助言者）、学校評議員  
小中学校教員、在校生、卒業生（文理科 0B/OG 含む）、保護者 他

## 6 タイムテーブル

8:25～	来校者受付（正面玄関）
8:40～ 8:45	2 年生始めの会
8:45～ 9:30	ポスター発表 I（前半グループ A、後半グループ B の発表）
9:30～ 9:40	休憩
9:40～ 9:45	1 年生始めの会（アリーナ）
9:45～10:30	ポスター発表 II（前半グループ B、後半グループ A の発表） 1 年生参加、SSH 以外の 2 年生は授業
10:30～	終わりの会

## H28年度 文理科SSH研究交流会・韮崎高校生発表演題一覧

### 文理科学系課題研究（4研究）

記号	演題（研究テーマ）	グループ
ア	日本政府はベーシック・インカムを導入すべきだ (肯定1)	A
イ	日本政府はベーシック・インカムを導入すべきだ (肯定2)	B
ウ	日本政府はベーシック・インカムを導入すべきではない (否定1)	A
エ	日本政府はベーシック・インカムを導入すべきではない (否定2)	B

### SSHグループ研究（26研究）

No	演題（研究テーマ）	グループ
1	傘ラジオの製作	A
2	Protect the eggs ～卵を守れ～	A
3	人間が識別できる最小の糖度とpHの差	A
4	プラナリアの再生後の記憶はあるのか？	A
5	ゾウリムシの有性生殖	A
6	咀嚼と顔の輪郭の関係	B
7	プロトプラストを作ろう	B
8	カレーのおいしさとは	B
9	パイナップルに含まれるプロテアーゼの研究	B
10	大腸菌に抗菌効果のある食品	B
11	ニュートンビーズの研究	B
12	青色光にハエに対する殺虫効果があるのは 本当なのか	A
13	シアノバクテリアは窒素飢餓状態でのみ 窒素固定を行う	B
14	植物が酸性ホスファターゼを 分泌する環境のシグナルは何か	A
15	濃硫酸と希硫酸の境目はどこにあるのか	A
16	水中シャボン玉の研究	A
17	活性汚泥による水質浄化	A
18	燃料電池の効率化に向けて	A
19	ニトロ化と火薬	A
20	セルロース分解菌の研究	B
21	韮崎市のセイウタンポポは本当に西洋種なのか	B
22	可視光線はプラナリアの再生に影響を与えるのか	B
23	砂層粒子の初期状態によって起こる 液状化の体積減少率	B
24	緑茶の抗菌効果について	B
25	甘利山の土壌環境調査	A
26	C4植物の光化学反応はC3植物よりも速いのか？	B

### 総学グループ（3研究）

No	演題（研究テーマ）	グループ
A	Trump Magic	B
B	100円ショップの謎	A
C	科学と宗教	B

### H28年度卒業生（2研究）・全国大会上位入賞研究

No	演題（研究テーマ）	グループ
I	濃硫酸と希硫酸の境目はどこにあるのか SSH生徒研究発表会 化学(無機)部門1位 審査委員長賞受賞(全国3位相当)	A
II	バイオリクターによるアルコール発酵 平成28年度全国総文祭出場	B

※この他、韮崎工業高校生と卒業生5研究が参加予定